

# 令和3年県民意識調査結果報告書

令和4年3月  
宮 城 県



I 調査の概要 .....	4
1 調査の趣旨 .....	4
2 調査の実施状況 .....	4
① 調査対象 .....	4
② 調査方法 .....	4
③ 調査期間 .....	4
④ 調査項目 .....	4
⑤ 回収結果 .....	4
3 調査結果の見方 .....	5
II 調査分析結果 .....	6
1 回答者の属性 .....	6
(1) 性別 .....	6
(2) 年代 .....	7
(3) 居住地域 .....	8
(4) 同居の家族人数 .....	10
① 家族構成 .....	11
(5) 居住年数 .....	12
(6) 職業 .....	13
① 業種 .....	15
(7) 東日本大震災の風化の実感 .....	16
① 東日本大震災の風化が進んでいると感じる時 .....	18
2 復旧・復興の進捗状況調査分析結果 .....	20
(1) 全般的な復旧・復興の実感について .....	20
(2) 全般的な復旧・復興の進捗状況を実感した取組 .....	22
① 回答者数 .....	22
② 分野・取組別の復旧・復興に対する実感 .....	22
3 宮城県震災復興計画の各取組の調査分析結果 .....	23
(1) 分野1 環境・生活・衛生・廃棄物 .....	23
① 取組1 被災者の生活環境の確保 .....	23
② 取組3 持続可能な社会と環境保全の実現 .....	27
(2) 分野2 保健・医療・福祉 .....	31
① 取組1 安心できる地域医療の確保 .....	31
② 取組2 未来を担う子どもたちへの支援 .....	35
③ 取組3 だれもが住みよい地域社会の構築 .....	39
(3) 分野3 経済・商工・観光・雇用 .....	43
① 取組1 ものづくり産業の復興 .....	43
② 取組2 商業・観光の再生 .....	47
③ 取組3 雇用の維持・確保 .....	51
(4) 分野4 農業・林業・水産業 .....	55
① 取組1 魅力ある農業・農村の再興 .....	55
② 取組2 活力ある林業の再生 .....	59
③ 取組3 新たな水産業の創造 .....	63
④ 取組4 一次産業を牽引する食産業の振興 .....	67

(5) 分野5	公共土木施設.....	71
① 取組1	道路、港湾、空港などの交通基盤の確保・整備促進.....	71
② 取組2	海岸、河川などの県土保全.....	75
③ 取組3	上下水道などのライフラインの整備.....	79
④ 取組4	沿岸市町をはじめとするまちの再構築.....	83
(6) 分野6	教育.....	87
① 取組1	安全・安心な学校教育の確保.....	87
② 取組2	家庭・地域の教育力の再構築.....	91
③ 取組3	生涯学習・文化・スポーツ活動の充実.....	95
(7) 分野7	防災・安全・安心.....	99
① 取組1	防災機能の再構築.....	99
② 取組2	大津波等への備え.....	103
③ 取組3	自助・共助による市民レベルの防災体制の強化.....	107
④ 取組4	安全・安心な地域社会の構築.....	111
<b>4</b>	<b>新・宮城の将来ビジョンについて</b> .....	<b>115</b>
(1) つくる1	全産業で、先進的取組と連携によって新しい価値をつくる.....	115
(2) つくる2	産業人材の育成と産業基盤の活用によって持続的な成長の基礎をつくる.....	121
(3) つくる3	子ども・子育てを社会全体で切れ目なく応援する環境をつくる.....	127
(4) つくる4	社会を生き、未来を切りひらく力をはぐくむ教育環境をつくる.....	133
(5) つくる5	一人ひとりがいきいきと豊かに生活できる環境をつくる.....	139
(6) つくる6	健康で、安全安心に暮らせる地域をつくる.....	145
(7) つくる7	自然と人間が共存共栄する社会をつくる.....	151
(8) つくる8	世代を超えて安全で信頼のある強くしなやかな県土をつくる.....	157
<b>5</b>	<b>テーマ別項目</b> .....	<b>164</b>
(1)	暮らしの満足度について.....	164
①	日常生活及び社会生活における満足度について.....	164
②	宮城で暮らして良かったと思うか.....	185
(2)	防災意識について.....	188
①	地震・津波・風水害等の自然災害に備え、日頃行っている対策.....	188
②	防災対策をしていない主な理由.....	191
(3)	自転車保険の加入状況等について.....	193
①	自転車の利用頻度について.....	193
②	自転車保険等への加入義務化及びヘルメット着用の努力義務化について.....	196
③	自転車保険または個人賠償責任保険（特約等）への加入について.....	199
③-付問	自転車保険または個人賠償責任保険（特約等）に加入していない理由.....	201
④	自転車利用時のヘルメット着用について.....	204
④-付問	自転車利用時にヘルメットを着用していない理由.....	206
(4)	2050年脱炭素社会の実現に向けて.....	209
①	2050年までに脱炭素社会を目指すことについて.....	209
②	導入を進めるべきと考える再生可能エネルギー等の種類.....	212
③	導入を進めるべきと考える省エネルギー等の取組.....	215
④	大規模な再生可能エネルギー施設の導入を避けたほうが望ましいと考える地域.....	218
(5)	宮城の魅力について.....	221
①	宮城県に愛着や誇りを感じるか.....	221
②	どんなとき（もの）に宮城県に「愛着」や「誇り」を感じるか.....	224
③	宮城県の魅力をどの程度友人・知人や県外の人におすすしたいか.....	227
④	宮城県の魅力をどのような方法でおすすめたことがあるか.....	230

6 調査に対する評価の調査分析結果.....	233
(1) 設問の量 .....	233
(2) 文章説明の分かりやすさ.....	233
(3) 文字の量 .....	234
(4) 記入方法の分かりやすさ.....	234
(5) 回答に要した時間 .....	235
(6) 様々な取組についての理解の深まり.....	235
(7) 県民の意見を県政に反映させる方法として適切か.....	236
7 県政全般についての自由意見.....	237
(1) 大分類.....	237
(2) 小分類.....	237
III 資料編.....	239

## I 調査の概要

### 1 調査の趣旨

この調査は、行政活動の評価に関する条例（平成 13 年宮城県条例第 70 号）第 7 条の規定により実施するもので、「宮城県震災復興計画」に基づく 7 分野 23 の取組及び「新・宮城の将来ビジョン」に基づく 8 つの「つくる」（18 の取組）について、県民がどの程度重視しているか、満足しているか、また今後どのようなことを優先的に取り組むべきと考えているかなどを調査しています。その結果は公表するとともに、県の政策評価・施策評価や施策・事業等の企画立案などに活用します。

### 2 調査の実施状況

#### ①調査対象

宮城県に居住する 18 歳以上の方 4,000 人（選挙人名簿等から無作為抽出）

#### ②調査方法

郵送配付、郵送及びインターネット回答

#### ③調査期間

令和 3 年 11 月 25 日（木）から令和 3 年 12 月 20 日（月）まで

#### ④調査項目

- 「宮城県の復旧・復興の進捗状況」に関する調査
- 「宮城県震災復興計画」に基づく 7 分野 23 の取組の重要度、満足度に関する項目
- 「新・宮城の将来ビジョン」に基づく 8 つの「つくる」（18 の取組）の重要度・満足度・今後優先すべきと思うテーマに関する項目
- テーマ別項目（「暮らしの満足度」、「防災意識」、「自転車保険の加入状況等」、「2050 年脱炭素社会の実現」、「宮城の魅力」）
- 回答者属性及び調査方法等に関する項目

#### ⑤回収結果

回収数 1,862 通 有効回収数 1,859 通（うち郵送回答数 1,615 件、インターネット回答数 244 件）  
回収率 46.6% 有効回収率 46.5%（うち郵送回収率 86.9%、インターネット回収率 13.1%）

### 3 調査結果の見方

○比率は百分率で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。

このため、百分率の計が100%にならないことがあります。

○本調査は無作為抽出調査であるため、調査結果を見る際には、母集団から標本（調査対象）を抽出することによって生じる「標本誤差（母集団全体を調査した場合に得られる真の値との差）」を考慮する必要があります。

今回の調査結果の標本誤差は、約±2%と見ることができます。

（例：今回の調査結果において、設問中の選択肢の「重要」の回答比率が60%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は約±2%以内（真の値が58%～62%以内にある）と見ることができます。）

○この調査で用いている用語の意義は、次のとおりです。

- ・「高実感群」とは、復旧・復興の進捗状況の実感に関する設問で、「進んでいると感じる」、「やや進んでいると感じる」と回答した割合を合わせたものです。
- ・「低実感群」とは、復旧・復興の進捗状況の実感に関する設問で、「やや遅れていると感じる」、「遅れていると感じる」と回答した割合を合わせたものです。
- ・「高重視群」とは、重視度に関する設問で、「重要」、「やや重要」と回答した割合を合わせたものです。
- ・「低重視群」とは、重視度に関する設問で、「あまり重要ではない」、「重要ではない」と回答した割合を合わせたものです。
- ・「満足群」とは、満足度に関する設問で、「満足」、「やや満足」と回答した割合を合わせたものです。
- ・「不満群」とは、満足度に関する設問で、「やや不満」、「不満」と回答した割合を合わせたものです。
  
- ・「沿岸部」とは、仙台市（青葉区、宮城野区、若林区、太白区、泉区）、石巻市、塩竈市、気仙沼市、名取市、多賀城市、岩沼市、東松島市、亘理町、山元町、松島町、七ヶ浜町、利府町、女川町、南三陸町の15市町です。
- ・「内陸部」とは、白石市、角田市、登米市、栗原市、大崎市、富谷市、蔵王町、七ヶ宿町、大河原町、村田町、柴田町、川崎町、丸森町、大和町、大郷町、大衡村、色麻町、加美町、涌谷町、美里町の20市町村です。
  
- ・「仙南圏域」とは、白石市、角田市、蔵王町、七ヶ宿町、大河原町、村田町、柴田町、川崎町、丸森町の9市町です。
- ・「仙台圏域」とは、仙台市（青葉区、宮城野区、若林区、太白区、泉区）、塩竈市、名取市、多賀城市、岩沼市、富谷市、亘理町、山元町、松島町、七ヶ浜町、利府町、大和町、大郷町、大衡村の14市町村です。
- ・「大崎圏域」とは、大崎市、色麻町、加美町、涌谷町、美里町の5市町です。
- ・「栗原圏域」とは、栗原市の1市です。
- ・「登米圏域」とは、登米市の1市です。
- ・「石巻圏域」とは、石巻市、東松島市、女川町の3市町です。
- ・「気仙沼・本吉圏域」とは、気仙沼市、南三陸町の2市町です。